

未来に責任ある市政を!
地に足をつけた政策を!
もっと力強い改革を!

現状への危機感と未来を守る使命感で
現職に挑んだ羽生市長選挙。
皆さんに思いを届けることは出来ず
結果は落選。

選挙後、民間企業に就職し、
日々の生活に追われる中で
あきらめかけた政治の道。



不退転の決意で臨んだ羽生市長選挙。
多くの方に支えて頂きました。

しかし、再び私を奮い立たせてくれたのは
羽生の今と将来を憂いた人々の声だった。

人々の生活を守りたい。
公平、公正なまちを創りたい。
子ども達に明るい未来を残したい。

このままじゃダメだ。
市政改革、再始動!



初心を忘れることなく
駅頭活動を続けています。



議場にて正々堂々と発言!

羽生の未来のために。 「中島の3つの政策理念」

- ① **持続可能な世の中の構築を目指します。**
財政、環境、社会構成など、その場しのぎではない中長期的な施策を追求する。そして、決して子供たちにツケをまわさない。
- ② **共生社会の実現を探究します。**
人と人の絆を重視。地域や組織の力を最大限に活用。参加や協働による社会システムの構築を探究する。
- ③ **予算の有効化を追求します。**
「予算の使い切り」という発想から、成果目的重視への発想転換を推進する。行政の生産性を高め、少ない予算で最大限の成果を目指す。



地方議員は名譽職ではない!

普段、注目されることは少ない地方議員。しかし去年はメディアで地方議員の不祥事が相次いで取り上げられました。そんなことから、現在地方議会、地方議員は大きく信頼を失っています。

しかし、こんな時だからこそ、私たちは地方議会、地方議員の役割と仕事について考え、見直さなければなりません。



議会で発言できない議員は No!

地方議員の任期は4年。地域や団体から推薦され立候補しているにもかかわらず、議場、委員会室ではほとんど発言をせず、ただ座っているだけ...

そのような議員がいるというのが地方議会の現実です。中島はこれまで全ての定例会で誰よりも積極的に発言することを心がけてきました。

説明責任を果たせない議員は No!

4年に1度、選挙の前になると、当たり障りないチラシを作り、4年に1度、選挙の前だけに姿を現す。普段はどこで何をしているか分からない...

そんな議員には迫り来る地方分権時代を担う事は絶対に出来ません。

地方議会不信、地方議員不信に向き合う。

メディアを通して全国に訴える!



地方自治専門誌に議会改革と若手議員育成について執筆しました。

TBS「総力報道 THE NEWS」に出演。メディアを通して議員年金制度の廃止を全国に訴えました。

説明責任。そして政治に信頼を!

説明責任を果たすため配布した議会レポートは8年間で38万枚以上(H27年2月現在47号)。議会報告会も積極的開催。インターネットを活用しての情報発信にも努めてきました。



議会報告会を積極的に開催。ブログ「ゼロからの挑戦日記」更新中。

将来に希望を見出すことが難しくなりつつある現代社会。誰かがいつの間にか明るい未来を創ってくれるなどということはありません。閉塞感に包まれたこの世の中を変えるには、まずは自分自身が変わること。行動すること。私はそう信じています。

